

特集

もっと知りたい!

図書館の裏側

長崎市立図書館では IC タグを導入しており、貸出や返却、書庫にある本の取り出しが自動でできるようになっています。IC タグを活用することで、迅速で効率的なサービスの提供に努めています。

自動貸出機

本や雑誌はカウンターに並ぶことなく、簡単な操作で複数冊を重ねたまま一度に借りることができます。



予約した本も自分で予約棚から取り出し、自動貸出機で貸出手続きができます。

出入口の IC ゲートは貸出手続きがお済みでない本を検知し、音でお知らせします。

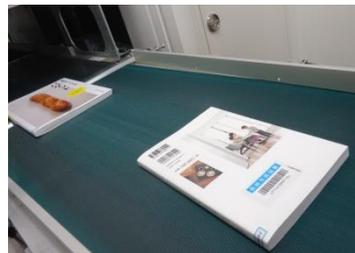


返却ポスト

閉館時間外や休館日でも、本を返却することができます。また、本を自動で返却・仕分けることで棚へ素早く戻します。



正面入口の右手にあります。返却ポストの投入口へ本を入れると…



本はベルトコンベアに乗って地下を通り、1階バックヤードへ



運ばれた本は自動で返却処理され、場所ごとに仕分けされます。毎日 5 千冊を処理しています!

自動閉架書庫

4階にある自動閉架書庫には、約 55 万冊の本を保管可能。本の管理や出し入れをコンピュータと連動させ、目的の本を自動で速やかに取り出しご提供します。



本はコンテナと呼ばれる収納ケースに入っています。



バックヤードにある出納ステーションから呼び出します。



目的の本が入ったコンテナを自動で識別・呼び出し…到着!

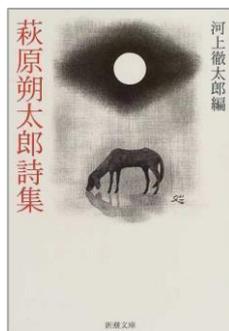
テーマ 「月」

今月は、私たちの身近な天体である「月」をテーマに、2冊の本を紹介します。

1冊目は『萩原朔太郎詩集』です。現代詩へ大きな影響を与えたとされている「月に吠える」など、代表作がおさめられています。著者が感じた不安や焦燥を表現豊かに表しており、「月光と海月」や「内部への月影」では美しい月の情景が浮かんできます。

2冊目は、アポロ計画でNASAが入手した写真を数多く掲載した『フル・ムーン』です。ページを一枚めくるごとに、当時の宇宙飛行士たちと共に月を探索しているような気分に入ることができます。

9月は、月が一層美しく見える季節です。普段何気なく目にしている月ですが、様々な視点から月を眺めてみてはいかがでしょうか。
(司書 藤原 ともえ)



『萩原朔太郎詩集』
萩原 朔太郎/著
河上 徹太郎/編
新潮社
B911.5ハ



『フル・ムーン』
マイケル ライト/編著
檜垣 嗣子/訳
新潮社
2階大型 446.4ラ

今月の
おすすめ本

秋は図書館で落語三昧！！

図書館で「和の芸」を楽しむ ～さんまは目黒・噺はきく磨～



気軽に立ち寄れる図書館寄席で、生の落語を聴いてみませんか。
林家はやしやきく磨まるさん(落語家・真打 林家木久扇一門)が古き良き日本の文化をお届けします。
今回は長崎を中心に活躍されている長崎あざみ落語会のはまの いそまる浜ノ磯丸さんにもお噺をしていただきます。
子どもから大人までみんなで楽しめる落語会です。ぜひ、お越しください。

申込・参加費
不要

9月24日(日) 14:00~15:40(開場 13:30)

場所：多目的ホール
定員：120名

参加して
みませんか

長崎県印刷工業組合×長崎市立図書館 共催

としょかん de 活版印刷

本木昌造からのおくりもの 2017

現在図書館が建つ場所には、明治時代、長崎生まれの本木昌造が設立した活版伝習所がありました。
この機会に、活版にふれてみませんか。



活版印刷体験ワークショップ
ペーパーコースターや便せんを
活版印刷でつくってみませんか？
いつでも体験できます。

申込・参加費
不要

9月9日(土) 10:00~17:00

場所：多目的ホール

映画会やおはなし会も行っています。

図書館のイベント情報は
チラシ、ホームページ、または
長崎市立図書館 公式 SNS で！



Twitter



Facebook

1面で紹介した
図書館の裏側は
動画で配信予定！

チェック！